

第58回

全国知的障害福祉関係職員 研究大会

京都大会

in ONLINE

未来への約束

～一人ひとりの想いに向き合って～

開催要綱

日程 2022年1月27日(木)・28日(金)

会場 両日ともオンライン開催

参加費 15,000円

対象者 知的障害関係施設・事業所の職員、福祉に関心のある方

申込期間 2021年11月1日(月)～12月10日(金)

アーカイブ
配信あり

主催 公益財団法人日本知的障害者福祉協会
近畿地区知的障害者施設協会
京都知的障害者福祉施設協議会

後援

(予定)

厚生労働省/文部科学省/京都府/京都市/(社福)全国社会福祉協議会/(一社)全国手をつなぐ育成会連合会/(一社)全国知的障害者施設家族会連合会/(社福)全国重症心身障害児(者)を守る会/(公社)全国脊髄損傷者連合会/(一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会/(一社)全国児童発達支援協議会/(公社)日本重症心身障害福祉協会/(公社)日本精神科病院協会/全国社会就労センター協議会/(特非)日本相談支援専門員協会/(特非)全国地域生活支援ネットワーク/障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会/(特非)日本障害者協議会/(一社)日本発達障害ネットワーク/(公社)日本発達障害連盟/(一社)日本自閉症協会/(一社)日本農福連携協会/京都障害児者親の会協議会/(社福)京都府社会福祉協議会/(社福)京都市社会福祉協議会/(公財)京都新聞社会福祉事業団

大会趣旨

本研究大会は、知的障害福祉分野の施設・事業所職員の専門性の向上と諸課題について、最先端の研究報告や現場での優れた実践事例、またシンポジウム等における議論を通して今後の目指すべき制度や支援のあり方を見いだそうとするものです。「その人らしい暮らし」、「その人らしい豊かな人生」の実現に向けて、地域の中の施設の在り方、未来をどう描くのか、福祉従事者の果たす役割と誇り、そして未来に向けた責務を共有するための研究大会を開催します。

第58回大会は初のオンライン開催となりますが、その利点を活用して、会員事業所の皆さまにとって有意義な場となりますよう、大会実行委員一同、精一杯努めたく存じます。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

大会プログラム

会期中(1月27～28日)は、下記の時間に限定し配信いたしますので、同時刻に実施する分科会には1つのみご参加いただけます。
1月29日～2月13日にアーカイブ配信を実施します。(一部のプログラムを除く)

1日目/1月27日(木)

9:00～ 9:35 開会式・表彰式
9:35～ 9:55 オープニング・パフォーマンス
10:00～10:45 行政説明(厚生労働省)
10:50～12:50 分科会
芸術/技術/人材
13:35～16:05 分科会
建築/高齢/子ども

2日目/1月28日(金)

9:30～12:00 分科会
働く/災害/暮らし/文化芸術活動
12:45～14:45 分科会
触法/専門性/虐待防止/文化芸術活動
15:00～16:00 記念講演・うた
16:05～16:25 閉会式

※内容、時間については変更となる場合がございますので、ご了承ください。

オープニング・パフォーマンス

1/27(木) 9:35～9:55



大地を寿ぎ天に祈る

三番三とは大地の神となり地を踏み固め、未来という種をまき、天下泰平、国家安穩、五穀豊穡などを祈る演目です。皆様が人につくすお仕事はまさに国家安穩を願うに他ならないと思います。皆様の願いの代表として舞台を勤めさせて頂く所存でございます。囃(はやし)方の奏でる心強い音楽、舞の豪快さ、着物のめでたさなど大いに感じ取っていただけると幸いです。京都が育んできた伝統芸能の三番三を是非お楽しみください。

茂山忠三郎氏 能楽師大蔵流狂言方

記念講演・うた

1/28(金) 15:00～16:00



哲さんの声が聞こえる

どんな時もいちばん苦しんでいる人に向き合い、「生きておりなさい」と言い続けた中村哲医師の生き方は、私たちにこの難しい時代を生き抜く、根源的な方法を教えてくれていると思います。哲さんの言葉の中で私がいちばん大切にしているのは、「その地域の慣習や文化について一切、これを良い悪い、劣っている優れている、という目で見ない。」という言葉です。この言葉は、私達が日本で暮らしている時も、目の前の人に対して、決して偏見を持たずに真っ直ぐに向き合う大切さを伝えています。このトークライブでは、私自身の人生も重ね合わせながら、哲さんの言葉をご紹介します。

加藤登紀子氏 歌手

1/27(木) 10:50～12:50

※会期中(1月27～28日)は、左記の時間に限定し配信いたします。

1月29日～2月13日にアーカイブ配信を実施します。(一部のプログラムを除く)

分科会【芸術】

ひとがはじめからもっている力

近年、障害のある人たちによって生み出されるユニークな表現が、アートとして注目されるようになりました。しかし展覧会で紹介される人たちに限らず、自宅や施設の中では「名付けようのない行為」に熱中する人がおり、しばしば家族や支援職員を驚かせたり困惑させたりします。

講師の日比野克彦氏は、アーティストとして第一線で活躍する傍ら、障害者支援施設でのショートステイ体験をきっかけに、近年は多文化共生をテーマとしたアートプロジェクトや教育プログラムを展開しています。日比野氏の長年の活動に触れながら、障害のある人たちの営む行為に対する眼差しや、アートと福祉が会うことによって生まれる新しい社会の姿について考えます。



日比野克彦氏
アーティスト
東京藝術大学美術学部長・
先端芸術表現科 教授

聞き手
奥山理子氏 みずのき美術館 キュレーター

- 講師紹介
- 収録会場(みずのき美術館)紹介
- 講師活動紹介
- インタビュー
 - ・「アートプロジェクト」について
 - ・障害のある人の表現との出会い
 - ・障害者支援施設でのショートステイ体験
 - ・多文化共生をテーマとしたプロジェクト
 - ・これから

分科会【技術】

テクノロジーの活用を支援のスタンダードに ～よりよい明日を約束するために～

今日のICT(情報通信技術)の進化・発展は目覚ましく、アルテック(身の回りにあるテクノロジー)の活用によって、知的障害や発達障害がある人たちの生活上の困難は大幅に改善・緩和される可能性があると言われています。しかしながら、障害がある人を支援する現場において、テクノロジーの活用が定着しているとは言い難い現状です。それを阻害している要因の一つとして、旧態依然とした社会通念や支援者の意識があるのではないのでしょうか。合理的配慮としてのテクノロジー活用が、知的障害・発達障害がある人たちの生活、そして未来を大きく変えていくことになるのではないか、そんな提言を分科会『技術』から発信します。



中邑賢龍氏
東京大学
先端科学技術
研究センター 教授

加藤永歳氏 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課
障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官
小林大祐氏 一般財団法人たんばの家のIoTとFabと福祉事務局

- 基調講演(60分)
「テクノロジー活用を支援のスタンダードに」
中邑賢龍氏
- ※休憩(10分)
- 報告・提言Ⅰ(15分)
加藤永歳氏
- 報告・提言Ⅱ(15分)
「デジタル技術とつくる仕事とケア
～「IoTとFabと福祉」の実践を通じて～」
小林大祐氏
- 鼎談(20分)
「障害福祉の未来をテクノロジーで開拓する」
コーディネーター: 中邑賢龍氏
加藤永歳氏、小林大祐氏

分科会【人材】

福祉の仕事には感動がある! 人材確保のための魅力発信

福祉職場の人材難が続いています。現場は人手不足なのに募集しても「人」が集まらない。全国の福祉施設がかかえた深刻な問題ではないでしょうか。しかし、問い直せば「私たちはどれだけこの仕事の魅力を発信できている」のでしょうか。本分科会では、元NHKアナウンサーとして親しまれた内多勝康氏に、福祉の現状を知り使命感をもって福祉職に転職されたその理由を伺い、また「障害者のリアルに迫る」東大ゼミOBの御代田太一氏に、「衝撃を受けた体験から、福祉の現場にどっぷりとつかってみたい」と思われた動機を語っていただきます。コーディネーターの野澤和弘氏が掘り下げていられる「本当のこの仕事の魅力とは何か」に心を揺さぶられたなら、自分たちもこのままではいけないときと動き出せるはずです。



野澤和弘氏
植草学園大学
副学長

内多勝康氏 国立成育医療研究センターもみじの家 ハウスマネジャー
御代田太一氏 救護施設ひのくに園 元生活支援員/
「障害者のリアルに迫る」東大ゼミOB

- 趣旨説明(10分)
「福祉の仕事には感動がある! 人材確保のための魅力発信」
野澤和弘氏
- 講演(各20分)
「福祉現場でソーシャルアクションを
～NHKアナウンサーからの転身～」
内多勝康氏
「「障害者のリアルに迫る」ゼミで受けた
衝撃と、福祉の仕事をした理由」
御代田太一氏
- 鼎談(70分)
コーディネーター: 野澤和弘氏
内多勝康氏、御代田太一氏

分科会【建築】

「利用者視点の施設環境づくり」

～質の高い施設環境をつくるためのヒント～

新型コロナにより社会の価値観が大きく変化しつつある今、障害のある方たちの暮らしの場、活動の場の「環境の質」が改めて問われています。新築・改修を問わず施設空間をつくる際には、「建築も支援の一つ」との考え方にに基づき、施設スタッフと建築家とが「環境の質」とは何かを共有し、共に描いていく創造力とことばが重要となります。

本分科会では、「利用者視点」による施設環境づくりというテーマのもと、障害者施設等の施設設計経験の豊富な建築家たちが、施設スタッフや利用者たちに向き合いながら培ってきた、隠れたニーズをあぶり出す洞察力や感性、そして建築的な提案力を紹介し、建築家と共に質の高い環境をつくっていくためのコツやヒントをお伝えします。



山脇博紀氏
筑波技術大学
産業技術学部
産業情報学科
教授

二井るり子氏 株式会社二井清治建築研究所 副所長
岩崎直子氏 株式会社ゆう建築設計 常務取締役
松村正希氏 株式会社莫設計同人 代表取締役
山崎博央氏 株式会社地域計画建築研究所(アルバック) 執行役員

分科会【高齢】

高齢社会における障がい者支援とコミュニティ

～年を重ねても自分らしく生きよう～

日本は超高齢社会へと突入し、2025年には65歳以上が約30%に達すると予測され、障害者福祉はもとより地域ネットワークにも大きな影響を与えます。こうした近い未来への道しるべとして、社会や地域へ発信し続け、成長してきた施設があります。一つは、障害当事者の運動から設立された「ありのまま舎」で、地域における「ケアコミュニティ」の考え方を取り入れた障害者や難病ホスピスケアの障害者支援施設として、医療面での看取りを含めた重度・重複・高齢当事者への実践についての報告です。更にもう一つは「みなと舎」で、重度心身障害者や医療的ケアが必要な方に、当事者の意思決定に基づく「くらしの選択」により、「自己実現」を目指したGHの実践についての報告です。これらの報告を踏まえ、重度・重複・高齢化する中で、障害者支援施設がコミュニティにおいて果たす役割について考えていきたいと思います。私たちがエッセンシャルワーカーとして、施設と地域をつなぎ、個と地域をつなぎ、様々な提案を続けながら、大切にしてきたことは何か気づけるかもしれません。



白江浩氏
社会福祉法人
ありのまま舎
常務理事

森下浩明氏 社会福祉法人みなと舎 常務理事・ゆう施設長
榎本博文氏 社会福祉法人ひまわり福祉会 ひまわりの風 施設長

●講演Ⅰ(60分)

「ケアコミュニティにおける障害者支援施設の役割～共に生きる生活支援を考える～」

白江浩氏

※休憩(5分)

●講演Ⅱ(30分)

「人生物語～重い障害があるメンバーさんから学ぶ～」

森下浩明氏

※休憩(5分)

●鼎談(50分)

コーディネーター：榎本博文氏
白江浩氏、森下浩明氏

分科会【子ども】

これからの社会的養護と
子どもと家庭への支援

令和2年2月に『障害児入所施設の在り方に関する検討会報告書』が出され、喫緊の課題として年齢超過児への対応や本来施設が担うべき4つの機能が整理されました。加えて、障害児入所施設も社会的養護の役割を担う必要がある事も提言されました。一方、障害児通所支援については、利用者数が増加、適切な運営や支援の質の確保が喫緊の課題と確認され、障害児通所支援が担うべき役割や機能や今後の障害児通所支援の在り方について『障害児通所支援の在り方に関する検討会』で議論されています。本分科会では、通所・入所・社会的養護・家族・地域支援等様々なキーワードを基に、多角的に障害児支援のあり方を再考する機会にしたいと思います。



上鹿渡和宏氏
早稲田大学
人間科学学術院 教授
社会的養育研究所 所長

坂根真理氏 毎日新聞記者
田中栄至氏 社会福祉法人六方学園 業務執行理事
北川聡子氏 社会福祉法人麦の子会 理事長

●基調講演(45分)

「これからの社会的養護と子どもと家庭への支援」
上鹿渡和宏氏

●講演(各20分)

「日本の子どもの支援と障害児施設のはたす役割」
北川聡子氏

「社会的養護における福祉型障害児入所施設の使命～子どもの権利条約と愛着形成について～」

田中栄至氏

「知的障害がある娘を支援学級からイエナプランスクールに入れた結果どうなったか」
坂根真理氏

●パネルディスカッション(45分)

パネリスト：田中栄至氏、坂根真理氏
助言者：上鹿渡和宏氏
座長：北川聡子氏

分科会【働く】

『農福連携』

～つながる就労支援、広がる日中活動～

近年全国で展開してきた、農業と福祉の連携。

1次産業の農業、2次産業の加工、3次産業の販売までの(1次+2次+3次=)6次産業に福祉としてどのように関わり、さらに、いろいろな障害程度の利用者が、どのような位置づけで農業と関わって成長をしていくのか、社会的な役割(SDGs、エシカル消費やソーシャルファーム化など)も含めて、多方面から先進的に農福連携に取り組んでおられる4施設の実践報告を元に、これからの農福連携の方向性を模索していきます。



榊原典俊氏
社会福祉法人
青葉仁会
理事長

須江淳起氏 長野県セルフセンター協議会 農福チャレンジコーディネーター
中原力哉氏 社会福祉法人一麦会ソーシャルファームもぎたて 代表
杉田健一氏 特定非営利活動法人縁活 常務理事

●事例報告(各30分)

「京都府の農福連携と長野県セルフ協議会のノウフク連携事業」

須江淳起氏

「ソーシャルファーム化の側面から見た農福連携について」

中原力哉氏

「NPO(地域ニーズ)から立ち上がった農福連携」

杉田健一氏

「いまさら農業がよ…!～農業から見える持続的な地域への関わり～」

榊原典俊氏

●シンポジウム(30分)

「農福連携のこれから」

コーディネーター: 榊原典俊氏

シンポジスト: 須江淳起氏、中原力哉氏、杉田健一氏

分科会【災害】

災害に備える、災害時に動く

～二つの大災害からの教訓～

各地で発生する自然災害や新型コロナウイルスのクラスター、利用者の暮らしの場である施設やグループホームが避難場所や医療提供の場となる状況に福祉関係者は予防や対策だけではなく、いかに利用者の命や暮らしを守りながら事業を継続していくのが課題となっています。

東日本大震災から10年が過ぎた今、地域社会の中で高齢者や障害者などが災害時に分断されないための仕組み作り、だれひとり取り残されない防災対策とはどのようなもののでしょうか。

本分科会では、地域連携の取り組みや実際に災害時支援や新型コロナウイルスのクラスターを経験された方の体験談なども交えながら、皆さんと共に考えたいと思います。



西牧謙吾氏
国立リハビリテーション
センター病院長・
発達障害情報センター長

蓬萊和裕氏 社会福祉法人ゆたか会 理事長
高部真実氏 社会福祉法人椿福社会 理事長
千葉正道氏 岩手県災害派遣福祉チーム メンバー

●報告・提言(各20分)

「災害時における事業所間の協働支援について」

蓬萊和裕氏

「岩手県災害派遣福祉チーム創設の経緯と意義被災地での支援活動の実際と課題」

千葉正道氏

「新型コロナウイルス(クラスター)を経験して私たちが得たもの」

高部真実氏

※休憩(10分)

●シンポジウム(80分)

「誰ひとり取り残されない防災対策とは」

コーディネーター: 西牧謙吾氏

シンポジスト: 蓬萊和裕氏、千葉正道氏、高部真実氏

分科会【暮らし】

地域生活と意思決定支援

～本人の意思を踏まえた、多様な生活の在り方への支援～

メイン講師に関西を中心に精力的な講演活動を行い、行政の各種審議会委員などを歴任されている松端克文氏(武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科教授)を迎え、本人の意思の下で「より豊かに暮らす」ことを目指して社会変容を図っていく必要性や方法論について論じていただきます。実践報告では、どれだけ重い障がいがあっても、自らが望むスタイルで、その人らしく生活を送ることに力を注いでおられる事例を紹介いただき、これからも多様化が進むであろう社会の中で、支援者も強い意思をもって本人の「暮らし」を支えていく、その決意を参加者の皆さんと共有できればと思います。



松端克文氏
武庫川女子大学
文学部
心理・社会福祉学科
教授

奥山智子氏 あいすくりーむの家 管理者
北地生氏 グループホームはまかせ サービス管理責任者
濱村怜氏 横手通り43番地「庵」 統括主任

●基調講演(45分)

「本人の意思を踏まえた、多様な生活の在り方への支援」

松端克文氏

●実践報告(各25分)

「24時間看護師常駐のグループホーム」

奥山智子氏

「高齢期を迎える利用者、介護保険制度との連携～日中サービス支援型GHの支援例～」

北地生氏

「行動障がいのある方を対象にした地域生活支援拠点」

濱村怜氏

●シンポジウム(30分)

「本人の望む暮らしの実現に向けて、支援者と社会に求められること」

松端克文氏、奥山智子氏、

北地生氏、濱村怜氏

1/28(金)12:45～14:45

※会期中(1月27～28日)は、左記の時間に限定し配信いたします。

1月29日～2月13日にアーカイブ配信を実施します。(一部のプログラムを除く)

分科会【触法】

触法問題から見えてくる課題と福祉施策

刑事施設内の受刑者のうち「IQ69以下の者が22.8%【厚生労働科学研究報告書/2009】」、他の資料ではIQ75以下が33%という数字もあります。また、山本譲司氏の「獄窓記」「累犯障害者」で明らかになった「触法障害者」の実態…この事実を私たちはどのように考えればよいのでしょうか。

触法障害者に共通する背景は、障害やそれに起因する生きにくさに十分な「見立て」と「教育」と「支援・環境調整」がなかったことです。生活に困り果てた彼(女)らが「生きにくさの解決策」として選ばざるを得なかった結果が「犯罪」だったといえないでしょうか。この現状に対して、障害者福祉/ソーシャルワークは何をしなければならないのかを宮口氏、青木氏、益子氏の話を通じて考えてみたいと思います。



宮口幸治氏
立命館大学
大学院人間科学
研究科 教授



青木建氏
国立武蔵野学院
元院長

益子千枝氏
兵庫県地域生活定着支援センターウイズ 主任相談員

分科会【専門性】

対人援助職のセルフメンタルヘルスケア

定員:200名(先着)

現場で利用者に日々向き合う中で、自身のストレスに対してどう向き合っていくかは、ますます重要になってきています。日ごろから自身の認知のクセを理解し、自身のメンタルをマネージすること、また、ストレスが発生した際の自身の強みを生かしてコーピング(対処)することは利用者との良好な関係性の基盤になると考えられます。

本分科会ではペアワークやグループワークを通して、自身の認知の特徴を理解したり、自身の強みを理解することで日々のメンタルヘルスケアの考え方を学び、実践することを目指します



松上純一郎氏
株式会社ルバート
代表取締役

志賀文香氏 me:Rise キャリアコーチ
小泉暁子氏 me:Rise キャリアコーチ

●講演(30分)

「メンタルヘルスケアについて知る」

●ワークショップ(90分)

「セルフメンタルヘルスケア

ー客観的に観て、認知の特性を知る」

分科会【虐待防止】

障がい者虐待防止・権利擁護と意思決定支援

2016年7月に発生した津久井やまゆり園事件から5年が経過しました。事件当時の建物は取り壊され、本年10月4日に新園舎が開所されました。再建計画にあたり、利用者ご本人の意思決定を柱に検討を重ねてこられた「津久井やまゆり園再生基本構想策定に関する部会」における議論は、利用者の権利擁護の具体的な実践事例として大変重要な意味を持っていると考えます。事件を風化させないためにも、私たち福祉事業者・従事者がこのプロセスを理解し、施設環境の改善や職員の専門性の向上、後を絶たない虐待問題に真摯に取り組み、向き合うことが福祉に従事する者の責任であると考えます。

また、障がい者虐待について、日本障害者虐待防止学会における活動の紹介を交え、障がい者の権利擁護についての学びの場になればと考えます。本分科会では、基調講演・実践事例をふまえ、「本人が望む暮らしと意思決定支援」について理解を深めたいと思います。



堀江まゆみ氏
白梅学園大学
子ども学部
教授

曽根直樹氏 日本社会事業大学福祉マネジメント研究科 准教授
則枝勝也氏 京都府立こども発達支援センター 技術次長・地域連携課長

ワークショップ① ライブペイント

1.28(金)9:30～12:00

知的障害の分野では従来より創作的な活動や、アート活動に取り組む事業所があり、近年は「障害者アート」が世界的な広まりを見せ、ますます注目度が高まっています。一方で、どのように導入すればよいかわからない、支援者が専門的なスキルが無いなど、意外とハードルが高い現実があるのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、型にはめずにご利用者の自由な表現をサポートされている事業所の実践を通じて、日頃の活動の中で、どのような環境で、どのような材料を使って創作活動に取り組んでおられるのか、そして支援者がどのような形で関わっておられるのか、完成した作品等がどのように世に送り出されていくのかを学び、新たな取り組みのきっかけにしたいと思います。



NPO法人スウィング

アート、環境、エトセトラ。スウィングは「べき」やら「ねば」やら既存の仕事観・芸術観に疑問符を投げかけながら、世の中が今よりほんのちょっとでも柔らかく、楽しくなればいいな!と願い、様々な創造的実践を繰り返しています。

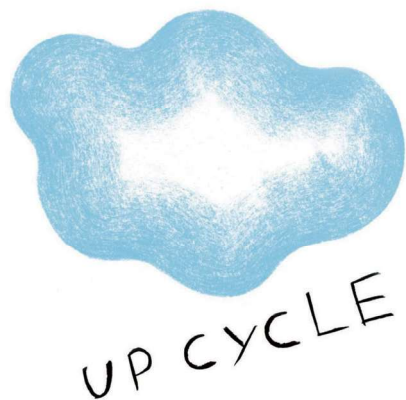


アトリエやっほう!!

京都市ふしみ学園の「アトリエやっほう!!」は2008年に活動をはじめました。個性豊かなメンバーが集まり、その独自の世界を国内外の展覧会で発信しています。最近では作品を通じて企業や団体と繋がり、様々な企画が進行中です。

ワークショップ② ものづくりが変わる ～アップサイクル・ラボ～

1.28(金)12:45～14:45 定員:100名(先着)



©フクシ・アップサイクル・プロジェクト

「アップサイクル」という言葉を知っていますか? 「リサイクル」(素材の再利用)とは違い、元の素材や製品が新しい用途として生まれ変わることによって価値がアップグレードされる考え方や手法、またそうして生まれた商品のことを指します。この数年、SDGsやサステナビリティ(持続可能性)が注目される中で、「アップサイクル」製品への関心も高まってきました。

本分科会では、今年「フクシ・アップサイクル・プロジェクト」を立ち上げたNPO法人みのりのもり劇場が進行役となって、「アップサイクル」について楽しく学び、また身近な素材でアップサイクル製品のアイデアを出し合うグループワークを行います。

企画:NPO法人みのりのもり劇場、協力:一般社団法人HAPS



伊豆田千加氏

NPO法人みのりのもり劇場 理事長

ワークショップ③ プロのテク.どんどんマネして! 「あかるい物撮り講座」

1.28(金) 12:45～14:45

お菓子、パン、雑貨など、障害者支援施設ではさまざまな自主製品が作られています。最近ではオシャレなパッケージデザインや他社とのコラボレーションなど工夫が凝らされた商品も増えてきました。しかし、多くの施設では自主製品のPRに苦戦しているのではないのでしょうか。

本分科会では、PRの第一歩となる「物撮り(商品撮影)」のポイントをワークショップ形式で学びます。手持ちの機材でも少しのコツで劇的に変わるクオリティを体感するだけでなく、商品に込めたコンセプトやストーリーの引き出し方から考えていくことで、「ひきつける写真」を撮ることを目指します。

企画:NPO法人みのりのもり劇場
協力:株式会社ゆかい



池田晶紀氏

株式会社ゆかい 代表
写真家
クリエイティブディレクター

日々の仕事を通じて、
心がふれあうおつきあいを。

ワタキューセイモアは
医療・福祉に特化した総合商社です。



健康と快適の明日を考える

ワタキューセイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

本社 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚 12-2
支店 / 〒600-8416 京都市下京区烏丸通高辻下る薬師前町707 烏丸シティ・コアビル TEL.075-361-4130
支店 / 北海道支店、東北支店、関東支店、東京支店、名古屋支店、近畿支店、中国支店、四国支店、九州支店

食べたいときに、
すぐおいしい。



これだけの塩分・カロリーで、
ここまでしっかりした味とは！
自分では難しい食事のコントロールも
食宅便なら、
安心して続けられますよ！

食生活の改善で
お悩みの方に朗報です。
味も彩りも栄養価も大満足の、
「食宅便ケアシリーズ」！

徳光 和夫

カロリー・塩分・たんぱく質の
コントロールでお悩みの方には
管理栄養士・栄養士が考案した「食宅便」を！

日清医療食品では、おいしさはそのままに塩分・カロリー・たんぱく質管理を行った「食宅便ケアシリーズ」を開発。ご本人様はもちろん、ご家族の方など、一緒に悩みを解決していきましょう！

日清医療食品 管理栄養士
川崎 理子

エネルギー
207kcal
塩分
1.7g

塩分ケア：回鍋肉(ホイコーロー)
厚揚げと桜えびの旨煮
もちもちギョーザ
かぼちゃの鶏そぼろ
キャベツとコーンのマヨネーズ和え

「食宅便ケアシリーズ」〈4コース〉

塩分ケアコース	カロリーケアコース 1200/1600	たんぱくケアコース	やわらかい食事コース
塩分 2.0g以下/食 *1	約 400kcal/食 *2 約 530kcal/食 *1	たんぱく質 約13g/食 *1	歯ぐきでつぶせる やわらかさ

*1 ご飯150gとおかずの合計 *2 ご飯100gとおかずの合計

7食分のおかずを
まとめて冷凍で
お届けします

4,340円 (税込)
1食あたり620円(税込)

全国一律送料別途
らくらく定期便：2セットまで**390円**(税込)
通常のご注文：2セットまで**780円**(税込)

ご注文の手間が省けて便利な
「らくらく定期便」がおすすめです。

おいしいだけじゃない！
選ばれる4つの理由

- 1 管理栄養士がメニュー考案
- 2 塩分・カロリー計算済み
- 3 冷凍庫にストックして安心
- 4 レンジでチンするだけ

お申し込みは今すぐ！

通話料無料 **0120-8149-39**

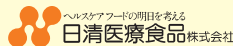
受付時間 8:30~20:30 [土日祝も承ります] ※電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようお願いいたします。

■WEBからもお申し込みいただけます。(24時間)

食宅便 検索
http://shokutakubin.com



●お支払方法／代金引換またはクレジットカードで、代金引換支払の場合、別途手数料320円(税込)が必要になります。 ●お届け／ご注文受付後4日程度で、クール便(冷凍)にてお届け。一部離島を除く。
【注意事項】●商品の特性上、お客様都合によるお申込み後のキャンセル・返品はご遠慮いただいております。商品の受領を拒絶された場合であっても、代金のご請求をさせていただきます。ご注意ください。 ●お届けした商品に破損等の不備がありましたら商品到着後7日以内に上記フリーダイヤルまでご連絡ください。確認させていただいたのち、代替品等の手配をいたします。 ●お客様に関する情報は、商品発送、代金決済、郵便・電子メール等による弊社商品等のご案内ほか、個人を特定しない統計的情報として利用させていただきます。 ●メニューの写真はあくまでイメージです。写真とは異なる場合がございますので、ご了承ください。



販売者／日清医療食品株式会社
〒100-6420 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング20階



日本経営ウィル税理士法人

事業と財産の成長発展 ここにしかない提案

事業と財産の「成長・永続」を実現するのは、
未来への洞察と正しい意思決定です。
私たちは創業以来、お客様とともに「先見性」と
「正しい意思決定」に向き合ってきました。
社会への祈りを込めて、ここにしかない未来をご提案して参ります。

記帳代行業務（社会福祉法人向け）

社会福祉法人の経理を自由に！

500件超の社会福祉法人の支援実績で培ったノウハウを提供

バックオフィスDX化支援

バックオフィスの働き方改革！

バックオフィスのシステム化、自動化による生産性向上支援

人事評価Navigator

コンサルのノウハウを詰め込んだ人事評価システム！

簡単かつ効果的な人事評価制度システムを低価格で提供

【日本経営ウィル税理士法人】

大阪本社

〒561-8510

大阪府豊中市寺内2-13-3 日本経営ビル

TEL 06-6865-0331（代）

東京事務所

〒140-0002

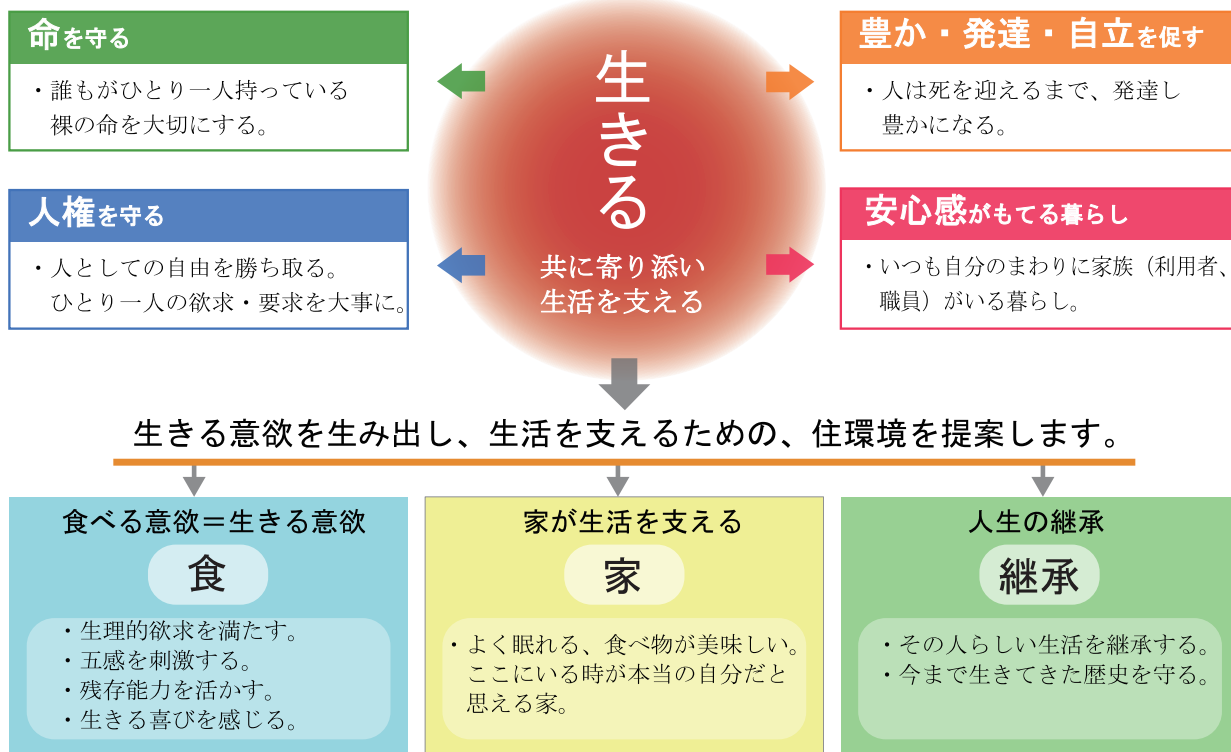
東京都品川区東品川2-2-20天王洲オアシンスクエア22F

TEL 03-5781-0760（代）



建築・環境から障がい者支援を 考えてみませんか…。

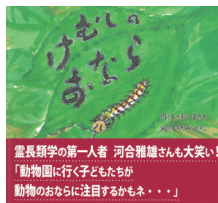
私たちが、建物をつくるにあたって大切にしてきた考え方です。



発達障がいテーマ
「だんごむしのおなら」



QRコードを読み込むとYouTubeで
「だんごむしのおなら」の
読み聞かせが視聴できます



「けむしのおなら」



「くじらのおなら」

作：松村正希
発行：京都新聞出版センター



株式会社

баку

一級建築士事務所
設計同人

代表取締役 工学博士 松村 正希



〒604-0814
京都市中京区東洞院通二条上る壺屋町512番地1
TEL 075-256-1131 FAX 075-256-4344
HP <http://baku-ao.jp/>
E-mail baku.arc@violin.ocn.ne.jp

協賛

tOgether

SEKISUI HOUSE

おうちで

障がい者の笑顔あふれる

チャレンジド

ふれあい

フェスティバル

2021

新型コロナウイルス感染症対策のため

Webにて開催!



Web
サイトへは、
こちらから

おうちでふれあいフェスティバル

検索

<http://www.event.together.or.jp/>



積水ハウスの医療・介護・福祉

With
PLATINA

(ウィム・プラチナ)

主催：認定NPO法人トゥギャザー 協賛：積水ハウス株式会社

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援

●就労に関する相談支援

●権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

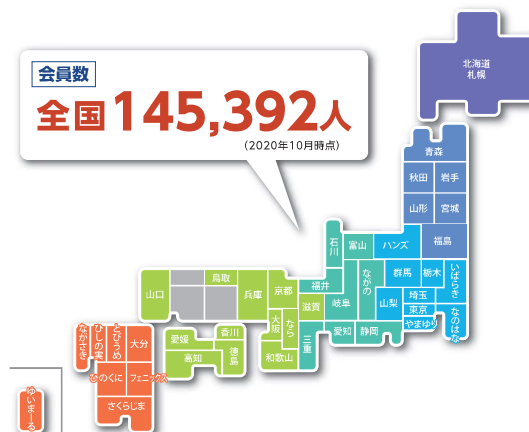
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約145,000人のみなさまに
ご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビル2号館2F

TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

東京第二プロチャネル営業部

〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階

TEL: 03-6894-9110

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

連絡先はTEL又はホームページにてご確認ください。

TEL: 03-5577-6351 <http://www.zensapo.jp>

加入窓口は全国の全国知的障害児者生活サポート協会傘下の

各都道府県団体の事務局となります。

MEMO

お申込み方法

①本大会WEBサイトへアクセス

下記URL、もしくは、右のQRコードからアクセスしてください。

<https://tifukukyototakai.jp/>

「京都知的障害者福祉施設協議会」WEBサイト内のバナーからもアクセス可能です!



▼本大会WEBサイト



②本大会WEBサイト内の「お申込みボタン」をクリック

③お申込みページにて必要事項をご入力の上、お申込みください。

④ご入金が完了しましたら、ご参加方法等をメールにてご案内いたします。

WEB展覧会

第58回全国知的障害福祉関係職員研究大会 特別企画

『未来への表現展inオンライン』

“想いがアートになる”そんな瞬間をわたしたち支援者は願っています
誰もが自由に表現できる展覧会を開催します

11月中旬～
応募受付開始!

募集要項

【応募テーマ】

「わたしが思い描く明るい未来」

いま好きなこと、これからの人生でやってみたいこと、誰かに伝えたいことなど、内なる思いを表現し、明るい未来を思い描こう。

【募集内容】

自由(絵画、写真、デジタルアート、立体造形、動画など)

ただし、デジタルデータで専用応募サイトからアップロードできるものに限りです。

※画像データ:JPEG形式、もしくは、PNG形式／動画データ:MP4形式、もしくは、YouTubeのURL

【掲載作品】

著作権や公序良俗を害するもの以外は原則として選考せずに全てサイト上に掲載します。

【応募資格】

公益財団法人日本知的障害者福祉協会の加盟施設・事業所の利用者による制作物であること
(利用者グループによる共同制作作品も可)

分科会文化芸術活動では、アート活動・表現活動をメニューとして取り入れている事業所によるライブイベントや、あらゆる活動の実践に活かせるワークショップも実施します。本展覧会とあわせて、是非ご参加ください。

作品のご応募、
ご観覧はこちらから

『未来への表現展inオンライン』特設サイト

<https://tifukukyototakai.jp/webtenrankai/>



大会WEBサイトからも
アクセスできます!

第58回全国知的障害福祉関係職員研究大会 特別企画

『オンライン物産展』開催予定 各施設の自慢の品をご紹介します!

出展施設
募集中!

お問い合わせ

第58回大会サポートデスク[担当:十楚(じゅうそ)、岡林]

E-mail: tifukutakai.kyoto@plan-sms.co.jp

TEL:070-3293-4715 受付時間:10:00～17:00(土日祝を除く平日)